



GLOBAL-DINING .CO.JP

2013年12月期 決算説明会資料
February 19th, 2014

2013年12月期
決算報告

Contents

2013年12月期 決算報告

業績サマリー

・ 損益計算書の概要(連結)	5
・ 貸借対照表の概要(連結)	6
・ キャッシュ・フローの概要(連結)	7
・ 過去5年間 売上高等主要数値の推移(連結)	8

事業計画サマリー

・ 2014年12月期 通期計画(連結)	10
----------------------	----

2013年振り返り

・ 2013年売上前年対比率 月次推移	12
・ 2013年の振り返り	13
・ ラボエム & ゼスト	14
・ モンスーン & 権八	15
・ フードコロシウム & デイナーレストラン	16
・ 全店売上実績と前年比	17

2014年の取り組み

・ 2014年の取り組み	19
--------------	----

参考資料

・ 会社別実績概要	21
・ 会社別予算概要	22
・ 損益計算書概要(国内)	23
・ 客数と客単価の前年同期比推移(国内)	24
・ 損益計算書概要 - 連結子会社(米国)	25
・ 2013年12月期 赤字店舗一覧	26

.業績サマリー

損益計算書の概要(連結)

	2013年12月期 通期						2012年12月期 通期			
	実績		計画値				実績			
		構成比		構成比	差異			構成比	差異	
売上高	10,932	100.0%	11,208	100.0%	(276)	-2.5%	11,813	100.0%	(881)	-7.5%
営業利益	170	1.6%	253	2.3%	(83)	-	(53)	-0.5%	223	-
経常利益	234	2.1%	276	2.5%	(41)	-	(35)	-0.3%	270	-
純利益	385	3.5%	528	4.7%	(142)	-	(191)	-1.6%	576	-
1株当たり 当期純利益	38円36銭		52円57銭				19円07銭			

期中平均株数(単位:千株) 為替レート
 12/31/2012: 10,044 JPY/USD 86.56
 12/31/2013: 10,044 JPY/USD 105.39

(金額の単位:百万円)

【売上高】

- 国内は客単価増加したが、客数減少の影響を補えず、既存店売上も前年割れした。
前年比:既存店 2.1% 全店 8.3%
- 米国はUSドルベースでは、全店売上を落とす。円安の影響で円ベースでの売上は前年より増加した結果となった。
前年比(USドルベース):既存店 10.4% 全店 12.0%

【コスト】

- 国内は購買力の強化・メニュー改善の影響で材料費率を0.7ポイント改善。また、店舗管理体制強化・残業時間減少など労務環境改善の影響により、労務費を0.9ポイント改善。
- 米国は管理意識の徹底により材料費を1.8ポイント改善したが、全体的に昨年より落ち込み、売上総利益段階で赤字となった。

【その他】

- 権八ビバリーヒルズ売却により固定資産売却益321.3百万円を特別利益として計上。
- 国内店舗閉鎖・改装等に伴い170.7百万円を、期末に減損判定を行い8店舗分125.3百万円、電話加入権7.4百万円を減損損失として、特別損失に計上。

貸借対照表の概要(連結)

	2013年12月期 期末		2012年12月期 期末		増減	
流動資産	1,901	23.1%	1,244	14.9%	657	52.8%
現預金	1,220		513		707	
売掛金	351		374		(23)	
原材料及び貯蔵品	210		230		(19)	
前払費用	102		112		(9)	
その他	15		13		2	
固定資産	6,317	76.9%	7,116	85.1%	(798)	-11.2%
有形固定資産	4,869	59.2%	5,501	65.8%	(632)	-11.5%
建物・構築物	2,139		2,456		(316)	
工具器具	110		122		(12)	
リース資産	9		16		(6)	
土地	2,605		2,906		(300)	
建設仮勘定	3		-		3	
無形固定資産	8	0.1%	24	0.3%	(15)	-64.9%
投資その他の資産	1,439	17.5%	1,589	19.0%	(150)	-9.5%
投資有価証券	23		8		15	
長期前払費用	7		16		(8)	
差入保証金	1,408		1,564		(156)	
総資産	8,219	100.0%	8,360	100.0%	(140)	-1.7%

	2013年12月期 期末		2012年12月期 期末		増減	
負債合計	3,801	46.2%	4,546	54.4%	(745)	-16.4%
流動負債	1,407	17.1%	1,942	23.2%	(534)	-27.5%
買掛金	415		451		(35)	
短期借入金	-		216		(216)	
1年以内返済予定 長期借入金	257		315		(58)	
未払金	128		148		(19)	
未払費用	366		529		(162)	
未払法人税等	26		33		(7)	
店舗閉鎖損失引当金	-		0		0	
資産除去債務	41		87		(46)	
その他	171		158		13	
固定負債	2,393	29.1%	2,603	31.1%	(210)	-8.1%
社債	1,360		1,360		0	
長期借入金	348		448		(99)	
資産除去債務(固)	576		647		(71)	
繰延税金負債	77		112		(35)	
その他	31		35		(3)	
純資産	4,418	53.8%	3,813	45.6%	604	15.8%
資本金	1,472		1,472		0	
資本剰余金	2,127		2,127		0	
利益剰余金	1,055		669		385	
為替換算調整勘定	(242)		(455)		213	
その他	5		0		5	
負債・純資産合計	8,219	100.0%	8,360	100.0%	(140)	-1.7%

(単位:百万円)

- ・ 権八ビバリーヒルズ売却、閉鎖・減損店舗の影響で固定資産が減少。
- ・ 固定資産売却による預金額増加により、流動費率が昨年末の64.1%から135.1%となり財務安定性が増した。
- ・ 流動負債は短期借入金(当座貸越)の返済を開始し、長期借入金に振替わったため減少。
- ・ 資産除去債務は、4店舗閉鎖・8店舗減損の影響で減少した。
- ・ 純資産は業績良化・為替の影響により385百万円の増加。

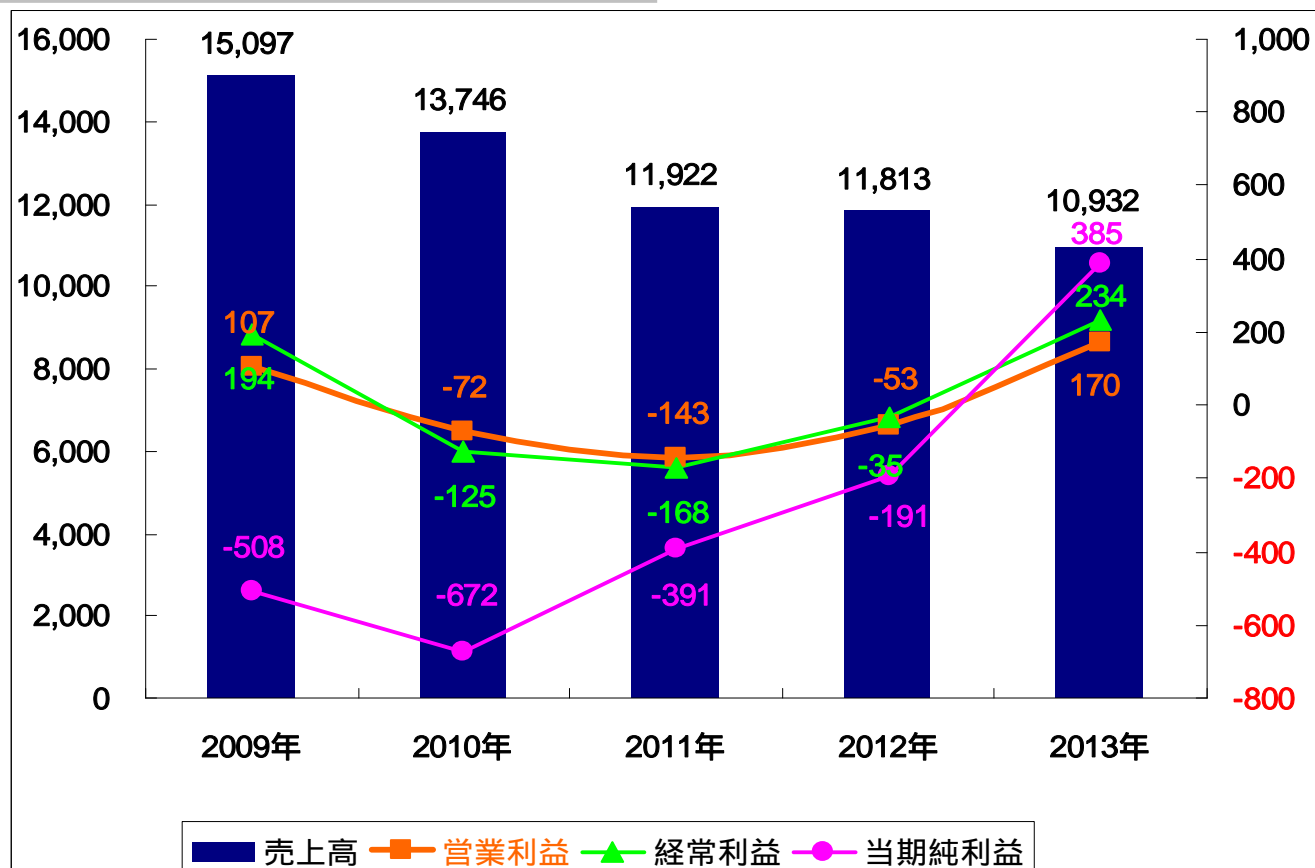
キャッシュ・フローの概要(連結)

連結	2013年12月期 通期	2012年12月期 通期	増減
営業活動によるキャッシュ・フロー	321	227	94
税金等調整前当期純利益	365	(62)	428
減価償却費	315	365	(50)
為替差損益	(59)	(23)	(35)
受取補償金	(16)	(18)	2
減損損失	203	15	188
利息の支払額	34	43	(9)
法人税等の支払額	(17)	(18)	0
その他	(503)	(74)	(429)
投資活動によるキャッシュ・フロー	736	(29)	765
有価証券の取得による支出	(10)	0	(10)
有形固定資産の取得による支出	(142)	(40)	(101)
有形固定資産の売却による収入	834	0	834
保証金の回収による収入	156	52	104
資産除去債務の履行による支出	(102)	(38)	(63)
その他	0	(1)	1
財務活動によるキャッシュ・フロー	(388)	(111)	(277)
短期借入金の増減額	(216)	(45)	(171)
長期借入れによる収入	330	460	(129)
長期借入金の返済による支出	(495)	(1,188)	692
社債の発行による収入	0	669	(669)
その他	(7)	(6)	0
現金及び現金同等物に係る換算差額	38	(1)	40
現金及び現金同等物の増減額	707	85	622
現金及び現金同等物の期首残高	513	428	85
現金及び現金同等物の期末残高	1,220	513	707

(単位:百万円)

- 営業活動によるキャッシュフローは店舗の営業面の改善により、前年比+94百万円の321百万円。
- 投資活動によるキャッシュフローは権八ビバリーヒルズの売却収入で834百万円。店舗改装費用などによる支出が142百万円となった。
- 財務活動によるキャッシュフローは短期借入金を借り替えた影響で、支出と収入の出し入れが発生。
- 現金及び現金同等物の残高は、昨年比+707百万円の1,220百万円。

過去5年間 売上高等主要数値の推移(連結)



(単位:百万円)

- 売上高は閉鎖店舗の影響に加え、既存店売上も減少した。
- 2010年以来続いていた赤字状態から脱却し、営業利益額・経常利益額ともに改善し4期ぶりに黒字化。
- 主なトピックとしては前述通りであるが、材料費・労務費の管理強化による改善があげられる。今後も更に営業面での強化を図る。
- 今期の純利益増加要因は権八ビバリーヒルズの売却により312.3百万円計上の影響。
- 2010年はマカオ事業の精算・2011年は震災の影響が色濃かったが、2012年以降は回復の傾向。実に7期ぶりの最終黒字となった。

. 事業計画サマリー

2014年12月期 通期計画(連結)

	2014年12月期 通期計画		2013年12月期 通期実績			
		構成比		構成比	差異	
売上高	10,535	100.0%	10,932	100.0%	(397)	-3.6%
営業利益	50	0.5%	170	1.6%	(120)	-
経常利益	54	0.5%	234	2.1%	(180)	-
当期純利益	40	0.4%	385	3.5%	(345)	-
1株当たり 当期純利益	3円98銭		38円36銭			

(単位:百万円)

想定為替レートJPY/USD=105.39

【売上高】

- 国内:前年比 4.2%
- 米国:前年比 +5.1% (USドルベース)
- 引き続き国内不採算店舗の閉鎖によって売上高は減少。4月からの消費税増税による売上高減少が懸念される。また、数年来の課題である、国内既存店の売上高増加が引き続き残る。

【コスト】

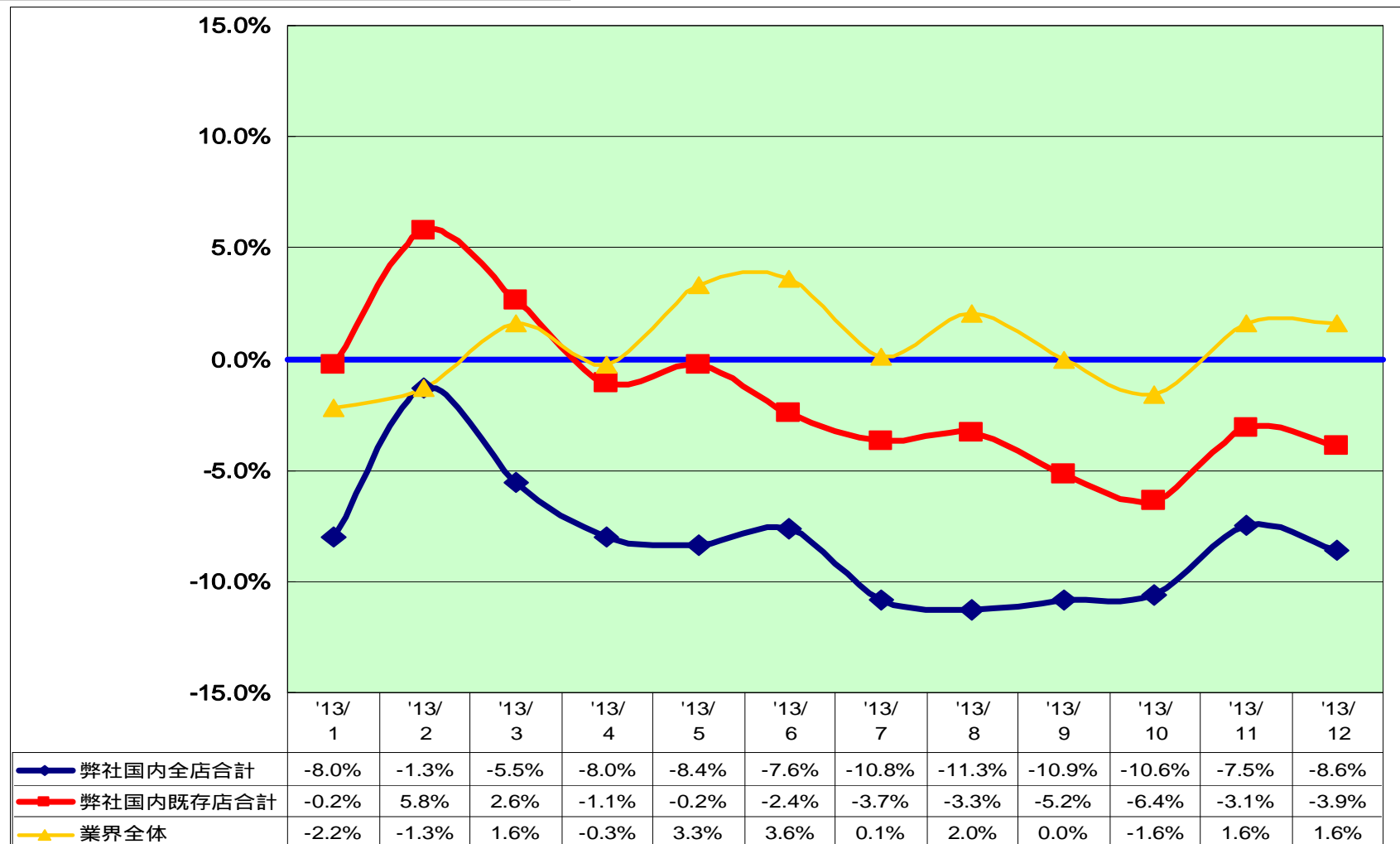
- 国内:材料費高騰への適切な対応をはじめ、引き続き体質の改善に取り組む。
- 米国:各店舗とも材料費率は改善しているが、労務費率・経費率の改善が引き続き課題として残る。

【その他】

- 不採算店舗の閉鎖により収益性が改善。
- 前述の通り、消費税増税の影響へ売上高・コスト両面への対応が今後の課題。

. 2013年の振り返り

2013年売上前年対比率 月次推移



2013年12月期 通期 売上高前年同期比

全店 8.3%
既存店 2.1%

2013年閉鎖店舗

- ・フードコロシウム グランベリーモール
- ・ゼストプレミアムバーガー ラクーア
- ・ゼストキャンティーナ 世田谷
- ・フードコロシウム 沖縄
- ・カフェ ラ・ボエム 西麻布

業界全体の数値は、
一般社団法人日本フードサービス協会
のデータを参考にしております。

● 店舗閉鎖・改装・オープン

- 1月 米国Gonpachi Beverly Hills売却
- 1月 フードコロシウムグランベリーモール とゼストプレミアムバーガーラクーア閉店、3月 ゼストキャンティーナ世田谷 閉店、6月 フードコロシウム沖縄 閉店、12月 カフェラ・ボエム西麻布 閉店
- 4月 カフェラ・ボエム南青山をLB7にリニューアル、9月 カフェラ・ボエム代官山をLB8にリニューアル
- 10月 香港に初のフランチャイズ店舗となる権八をオープン

● 料理・サービスの品質向上継続

- グランドメニューのブラッシュアップ、ドリンク新規開発 継続
- 産地直送等、購買力強化継続
- 社内の実技競技会の強化

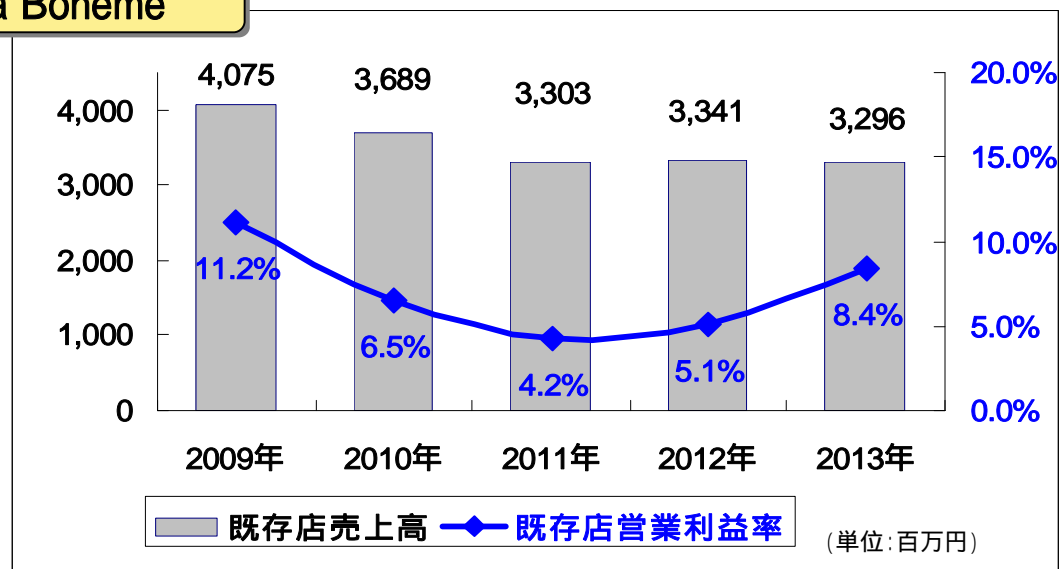
● 国内営業単位の細分化・効率化による収益向上

● 海外子会社(GDC)の業績改善への取り組み

● 創業40周年

国内コンセプト別 既存店売上・営業利益の推移 -ラ・ボエム & ゼスト-

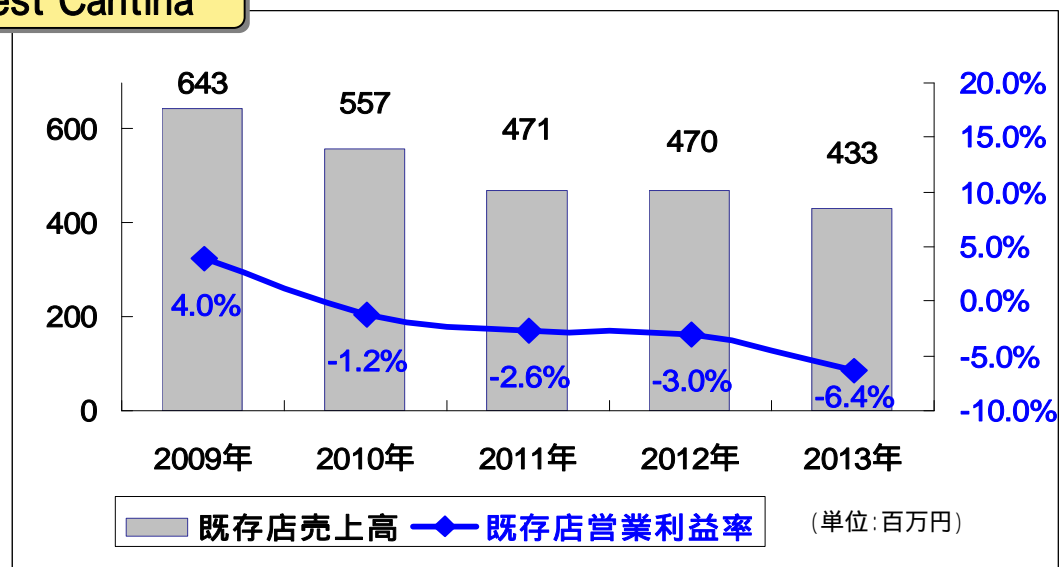
La Boheme



【前年対比】
 既存店売上 1.4%
 原材料 2.0ポイント改善
 労務費 1.2ポイント改善
 営業利益 3.3ポイント改善

【2013年上期】
 ・南青山店をリニューアルしLB7として営業開始
 【2013年下期】
 ・代官山店をリニューアルしLB8として営業開始
 ・不採算店の西麻布店を閉鎖

Zest Cantina



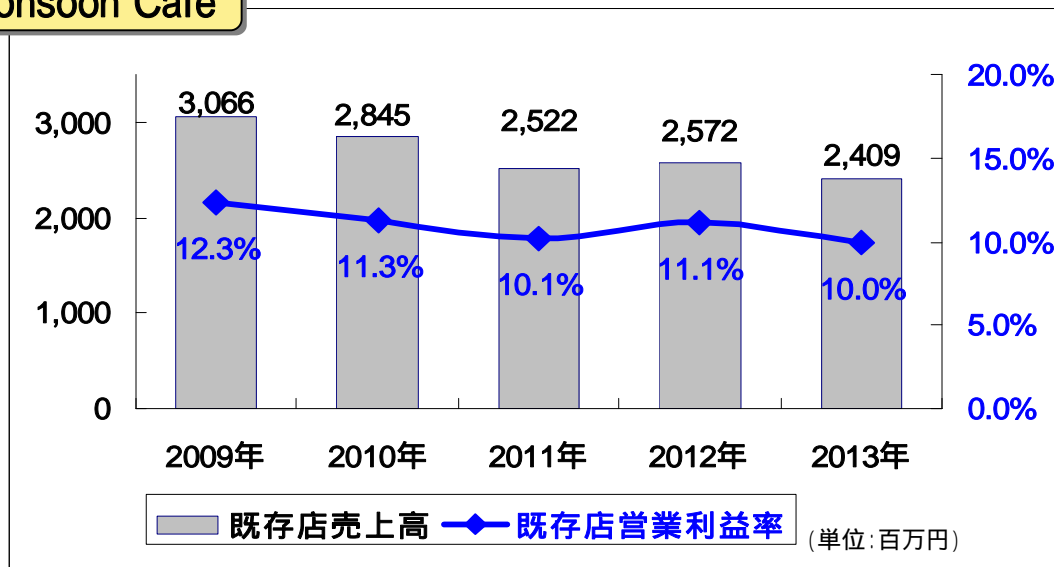
【前年対比】
 既存店売上 8.0%
 原材料 前年同等
 労務費 1.3ポイント悪化
 営業利益 3.4ポイント悪化

売上高悪化に伴い、固定比率が1.7ポイント悪化

【2013年上期】
 ・不採算店の世田谷店を閉鎖

国内コンセプト別 既存店売上・営業利益の推移 - モンスーンカフェ & 権八 -

Monsoon Cafe

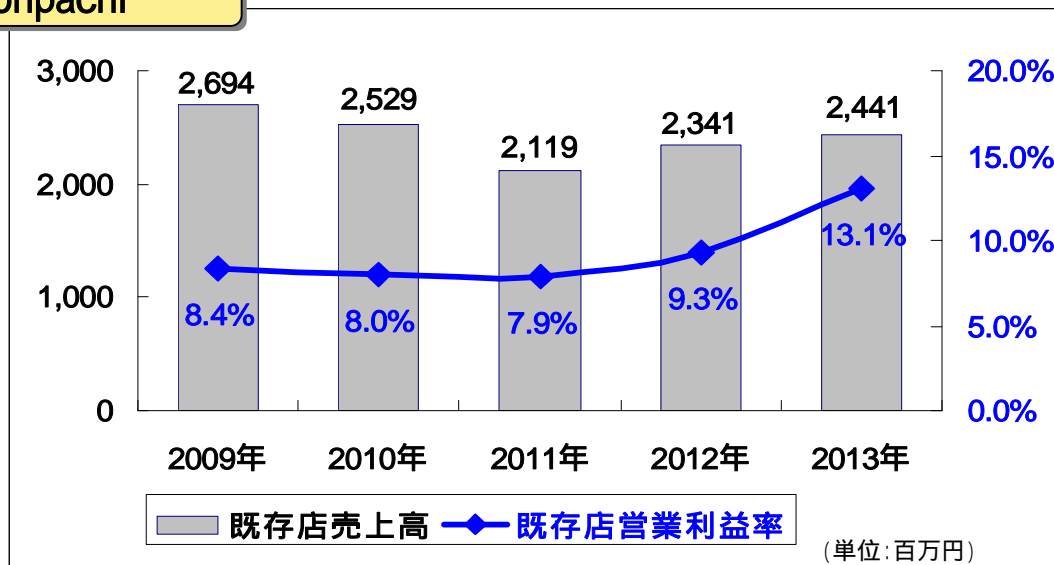


【前年対比】

既存店売上 6.3%
 原材料 前年同等
 労務費 前年同等
 営業利益 1.1ポイント悪化

売上高悪化に伴い、固定比率が0.9ポイント悪化

Gonpachi

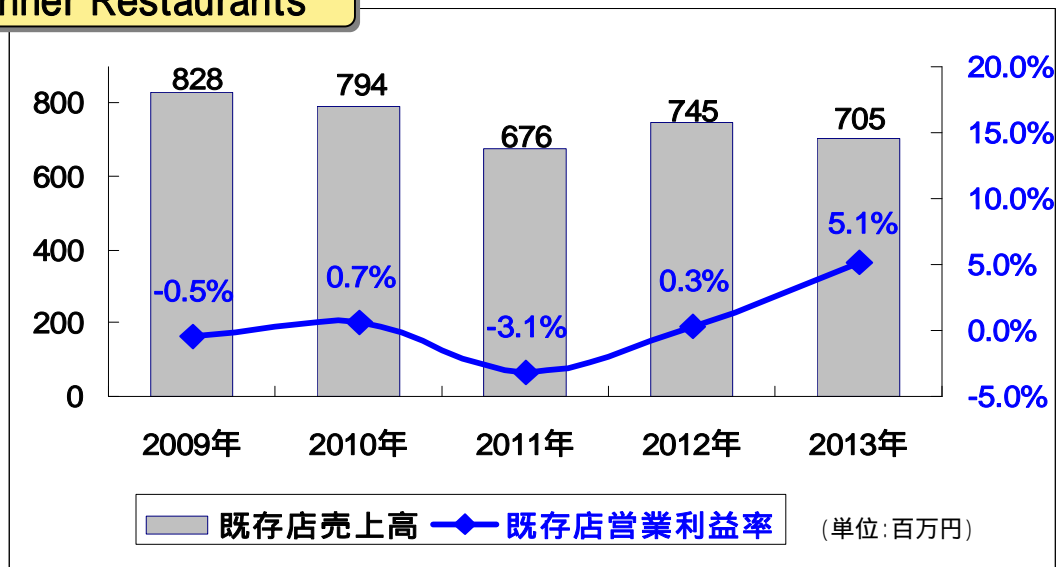


【前年対比】

既存店売上 +4.3%
 原材料 0.8ポイント改善
 労務費 1.5ポイント改善
 営業利益 3.8ポイント改善

国内コンセプト別 既存店売上・営業利益の推移 -ディナーレストラン & その他-

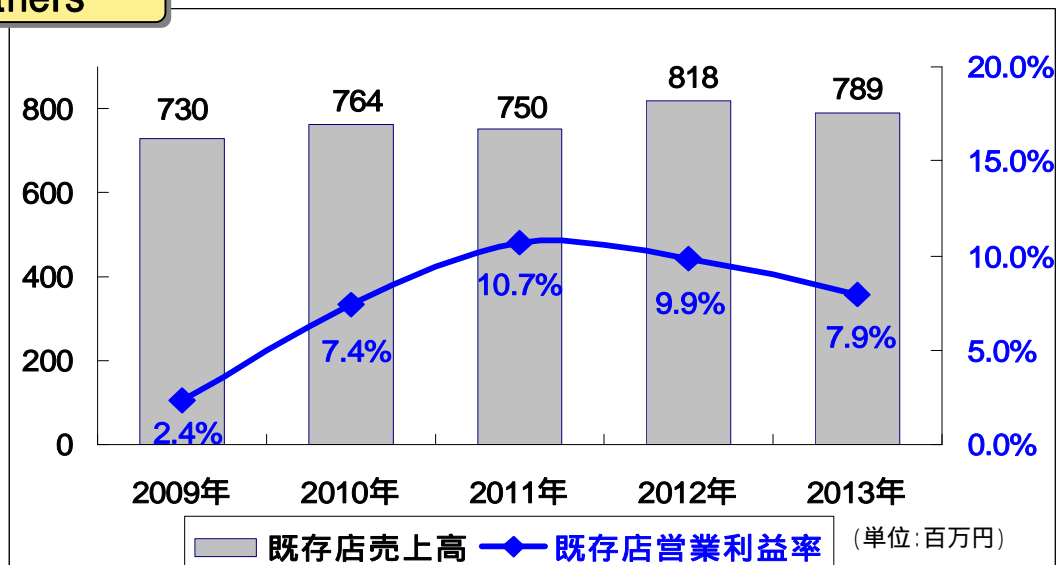
Dinner Restaurants



【前年対比】
 既存店売上 5.5%
 原材料 2.7ポイント改善
 労務費 1.8ポイント改善
 営業利益 4.8ポイント改善

【2013年下期】
 ・タブローズ代官山の改装を実施

Others



フードコロシアム那須 営業利益率 17.9%
 ウェディング 営業利益率 6.9%
 デカダンス 営業利益率 4.2%

【前年対比】
 各店舗売上高減少により、3.4%
 営業利益 2.0ポイント悪化、
 フードコロシアム那須・ウェディングは
 前年同等であったが、デカダンスが減少。

【2013年上期】
 ・不採算店のフードコロシアムグランベリーモールおよび沖縄とゼストプレミアムバーガー ラクーアを閉鎖

2013年通期 全店売上実績と前年比

国内事業/業態別

売上高

10,279百万円(去年同期比)

2013年12月期 通期	合計
売上高	10,279
全店前年比	-8.3%
既存店前年比	-2.1%
営業利益	259

営業利益

924百万円 259百万円(去年同期比 + 248百万円)

ラ・ボエム	ゼスト	モンスーン	権八	Dinner	FC	デカダンス	ウェディング	ZPB	その他	本部 販管費
3,342	451	2,408	2,441	704	379	178	358	4	551	-
-3.4%	-40.5%	-7.6%	4.3%	-5.5%	-43.6%	-3.0%	-5.0%	-93.0%	-11.1%	-
-1.4%	-8.0%	-6.3%	4.3%	-5.5%	-1.5%	-3.0%	-5.0%	-	-4.4%	-
271	(31)	240	319	35	43	(7)	24	(1)	24	(644)

2012年12月期 通期	合計
売上高	11,203
営業利益	11

ラ・ボエム	ゼスト	モンスーン	権八	Dinner	FC	デカダンス	ウェディング	ZPB	その他	本部 販管費
3,458	758	2,607	2,340	745	672	183	377	58	619	-
156	(8)	282	218	0	21	6	25	(4)	27	(685)

2013年 カフェ ラ・ボエム西麻布・ゼストキャンティーナ 世田谷・フードロシアン グランベリーモール・ゼストプレミアムバーガー ラクーアを閉鎖。

(単位:百万円)

カフェ ラ・ボエム 南青山はLB7、カフェ ラ・ボエム 代官山はLB8に業態変更

海外事業(米国)/店舗別

売上高

6,195千ドル(去年同期比)

2013年12月期 通期	合計
売上高	6,195
前年比	-12.0%
営業利益	(845)

営業損失

846千ドル)

845千ドル(去年同期比)

91千ドル)

ラ・ボエム	モンスーン	権八 ヒバリーヒルズ	権八 トランス	本部販管費
1,293	2,509	0	2,393	0
-16.4%	-8.3%	-100.0%	-9.2%	-
(119)	(71)	(5)	(54)	(596)

2012年12月期 通期	合計
売上高	7,041
営業利益	(754)

ラ・ボエム	モンスーン	権八 ヒバリーヒルズ	権八 トランス	本部販管費
1,547	2,734	126	2,634	0
119	83	(217)	59	(798)

(単位:千USDドル)

. 2014年の取り組み

- **店舗閉鎖・リニューアル・出店**
 - － 2月 デカダンスデュ ショコラ 銀座を出店
 - － 3月 賃貸借契約期間満了のためデカダンスデュ ショコラ 渋谷を閉鎖予定
 - － 上期 モンスーンカフェ北青山を出店予定

- **料理・サービスの品質向上継続**
 - － 昨年取り組みの継続

- **採用・教育の強化継続**

- **本部機能の強化**
 - － 本部による現場営業及び管理業務のサポート強化により収益向上を目指す

- **海外子会社(GDC)の業績改善**
 - － 日本国内からの人材派遣と現地での人材採用による立て直し

參考資料

会社別実績概要

国内	2013年12月期 通期						2012年12月期 通期			
	実績		計画				実績			
		構成比		構成比	差異			構成比	差異	
売上高	10,279	100.0%	10,563	100.0%	(284)	-2.7%	11,203	100.0%	(924)	-8.3%
営業利益	259	2.5%	295	2.8%	(36)	-	11	0.1%	248	-
経常利益	300	2.9%	296	2.8%	3	-	0	0.0%	300	-
当期純利益	129	1.3%	247	2.3%	(118)	-	(155)	-1.4%	284	-

(単位:百万円)

米国	2013年12月期 通期						2012年12月期 通期			
	実績		計画				実績			
		構成比		構成比	差異			構成比	差異	
売上高	652	100.0%	645	100.0%	7	1.2%	609	100.0%	43	7.1%
営業利益	(89)	-13.6%	(42)	-6.5%	(46)	-	(65)	-10.7%	(23)	-
経常利益	(65)	-10.0%	(20)	-3.2%	(44)	-	(35)	-5.9%	(29)	-
当期純利益	256	39.2%	280	43.4%	(23)	-	(35)	-5.9%	292	-

(単位:百万円)

上記数値は連結修正前の会社別数値になります

会社別予算概要

国内	2014年12月期 通期計画		2013年12月期 通期実績			
		構成比		構成比	差異	
売上高	9,849	100.0%	10,279	100.0%	(430)	-4.2%
営業利益	101	1.0%	259	2.5%	(158)	-
経常利益	104	1.1%	300	2.9%	(196)	-
当期純利益	90	0.9%	129	1.3%	(39)	-

(単位:百万円)

米国	2014年12月期 通期計画		2013年12月期 通期実績			
		構成比		構成比	差異	
売上高	686	100.0%	652	100.0%	33	5.1%
営業利益	(50)	-7.3%	(89)	-13.6%	38	-
経常利益	(50)	-7.3%	(65)	-10.0%	14	-
当期純利益	(50)	-7.3%	256	39.2%	(306)	-

(単位:百万円)

想定為替レート: JPY/USD=105.39

各数値は連結修正前の会社別数値になります

損益計算書概要 - 国内

2013年12月期 通期	合計	ラ・ボエム	ゼスト	モンスーン	権八	Dinner	FC	その他	本部
売上高	10,279	3,342	451	2,408	2,441	704	379	551	
全店前年比	-8.3%	-3.4%	-40.5%	-7.6%	4.3%	-5.5%	-43.6%	-11.1%	
売上原価	9,157	2,981	462	2,114	2,069	656	328	500	44
売上総利益	1,121	361	(11)	293	372	48	50	50	(44)
販管費	862	89	20	53	52	12	7	25	600
営業利益	259	271	(31)	240	319	35	43	24	(644)
営業利益率	2.5%	8.1%	-7.0%	10.0%	13.1%	5.1%	11.4%	4.5%	
店舗数	50	20	4	11	7	4	1	3	

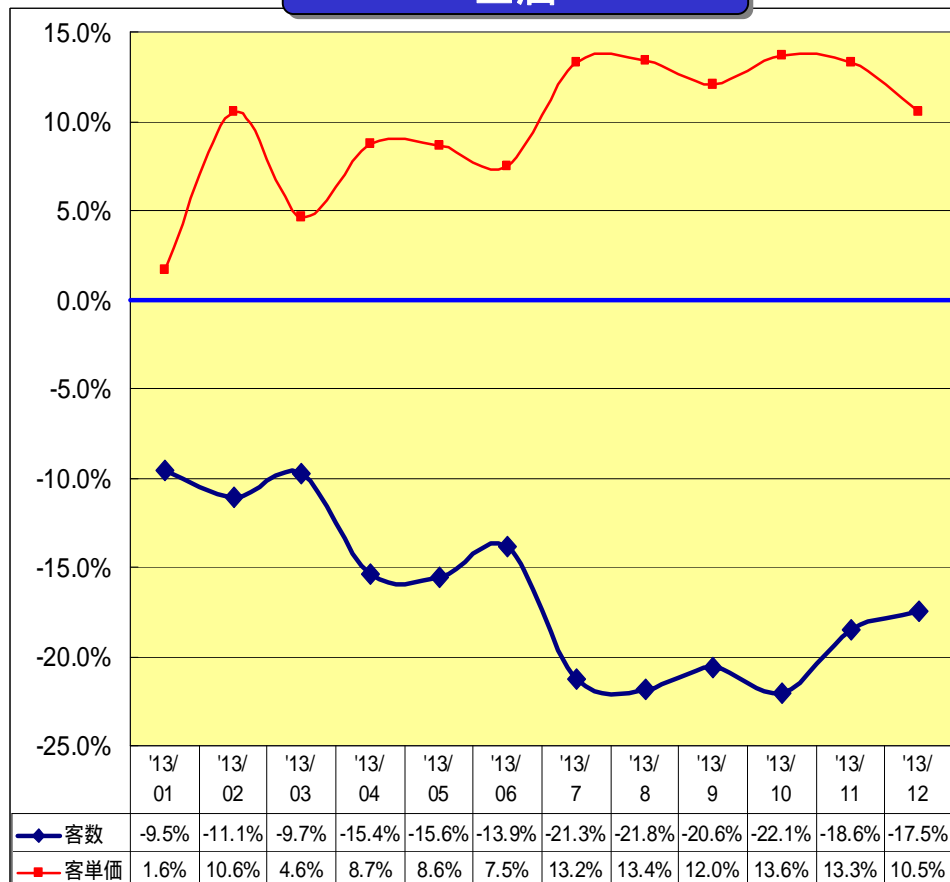
2012年12月期 通期	合計	ラ・ボエム	ゼスト	モンスーン	権八	Dinner	FC	その他	本部
売上高	11,203	3,458	758	2,607	2,340	745	672	619	
売上原価	10,293	3,216	740	2,270	2,072	730	646	561	53
売上総利益	910	242	18	336	267	14	25	58	(53)
販管費	898	85	26	54	49	15	4	31	632
営業利益	11	156	(8)	282	218	0	21	27	(685)
営業利益率	0.1%	4.5%	-1.1%	10.8%	9.3%	-0.1%	3.1%	4.5%	
店舗数	55	21	5	11	7	4	3	4	

(単位:百万円)

その他は、ウェディング部門・デザート部門・ゼストプレミアムバーガーの合計値であり、
ウェディング部門の営業所を店舗数及び売上比較に含んでおります。

客数と客単価の前年同期比推移(国内)

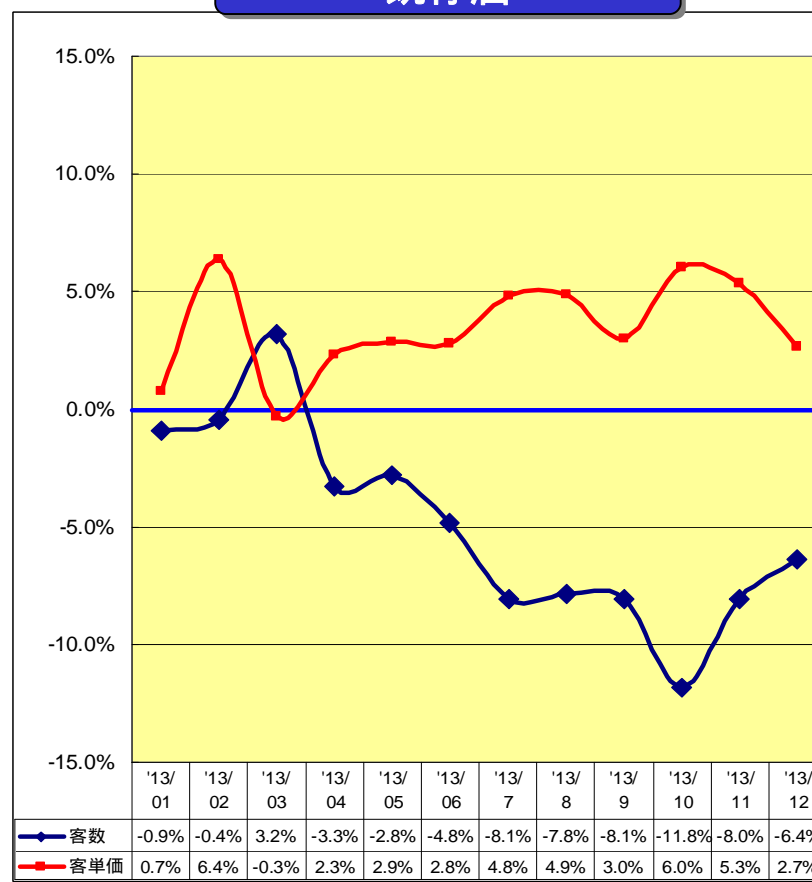
全店



2013年累計期間

客数 16.6%・客単価 +9.7%

既存店



2013年累計期間

客数 5.0%・客単価 +3.3%

スイーツ部門は含まれておりません

損益計算書概要 - 連結子会社(米国)

2013年12月期 通期							
	ラ・ボエム	モンスーン	権八 ビバリーヒルズ	権ハトーランス	本部	合計	
売上高	1,293	2,509	0	2,393	0	6,195	100.0%
売上原価	1,413	2,579	5	2,447	(35)	6,408	103.4%
売上総利益	(119)	(71)	(5)	(54)	35	(213)	-3.4%
販管費	0	0	0	0	631	631	10.2%
営業利益	(119)	(71)	(5)	(54)	(596)	(845)	-13.6%

(単位:千ドル)

2012年12月期 通期							
	ラ・ボエム	モンスーン	権八 ビバリーヒルズ	権ハトーランス	本部	合計	
売上高	1,547	2,734	126	2,634	0	7,041	100.0%
売上原価	1,428	2,652	342	2,575	6	7,003	99.5%
売上総利益	119	83	(217)	59	(6)	39	0.5%
販管費	0	0	0	0	792	792	11.2%
営業利益	119	83	(217)	59	(798)	(754)	-10.7%

(単位:千ドル)

上記数値は業績管理用の決算整理前の数値となっております。

2013年12月期 赤字店舗一覧

店舗名	2013年通期	
	売上	営業利益
G-Zone銀座ゼスト	138,697,612	-13,447,193
桜新町炭焼き権八	66,763,806	-9,570,477
恵比寿ラ・ボエム	53,275,379	-7,454,808
グランベリーフードコロシウム	9,573,083	-4,849,159
西麻布ラ・ボエム	46,156,018	-4,440,858
お台場ゼスト	134,389,302	-4,404,176
お台場ラ・ボエム	229,728,284	-3,429,862
代官山ラ・ボエム	29,126,112	-3,376,527
世田谷ゼスト	18,485,015	-2,813,204
南青山ラ・ボエム	3,525,913	-2,491,070
西麻布ゼスト	64,348,497	-1,813,731
麻布十番モンズーン	112,487,824	-1,440,714
ラクーア ZPバーガー	4,062,440	-1,339,845
クアリタ・ラウンジ	17,158,398	-371,929
天神クアリタ	112,947,747	-133,916
カフェ ラ・ボエム ロサンゼルス	136,307,657	-12,569,933
権八 トーランス	252,202,762	-5,644,590
モンズーンカフェ サンタモニカ	264,386,722	-7,434,526

(単位:千円)
為替レート 2013/12/30
JPY/USD 105.39

「グランベリーフードコロシウム」は2013年1月14日を、「ラクーア ZPバーガー」は2013年1月31日をもちまして閉店致しました。

「南青山ラ・ボエム」は2013年4月22日より「LB7」として営業しております。

「代官山ラ・ボエム」は2013年9月9日より業態を変更して「LB8」として営業しております。



注意事項

本資料における将来に関する事項は、本資料の発表日現在において入手可能な情報および業績に影響を与える不確実な要因に係る本資料発表日における仮定を前提としております。

This document contains forward-looking statements which represent the Company's expectations or beliefs concerning future events. The Company's actual results could differ materially from those stated or implied in the forward-looking statements herein.



代表取締役社長 : 長谷川 耕造

取締役経営管理本部長 : 山下 優子

事務連絡者氏名 : 中尾 慎太郎

TEL:03-5469-3223